

オーディオ特集に寄せて

本号音楽ギア特集の制作中に、国内外の音楽家が立て続けに亡くなりました。スタッフ一同悲しみのなかでの編集作業となりました。本特集を彼らの作り出した素晴らしい音楽に敬意をもって捧げ、慎んでご冥福をお祈りいたします。ジェフ・ベック、リサ・マリー・プレスリー、高橋幸宏、デヴィッド・クロスビー、トム・ヴァーレイン、鮎川 誠(以上、敬称略)/モノ・マガジン編集部

**ワイヤレスヘッドフォン&イヤフォン、ターンテーブル、BTスピーカーからサウンドインテリアまで
美音情報フルスベック!**

P12

音楽コックピット

P16

ロックバンド「レベッカ」のリーダー&
キーボード、コンポーザー
土橋 安騎夫さんスペシャルインタビュー

P20

追悼 ありがとう! 幸宏さん
ヘッドフォンで 高橋幸宏を聴く

P24

日本の美音工房[STAX]が世界に放つ凄音の頂点
美音の到達点

P26

これはおそらく、君が聴いたことのないヘッドフォンサウンド
キーワードは“頭外定位”

P28

予算20万円以下での中チョイス!
バスッと決めたいターンテーブル

P32

オーディオライター野村ケンジさんの解説付き
いま買うべきイヤフォンはどれ?

P36

Indoorで使う? Outdoorで使う?
シチュエーションで選ぶ
ワイヤレススピーカー

P38

あなたの最適解を見つけよう!
サウンドバーの選び方指南

P40

「Polk Audio」リスニング体験で納得
日常に溶け込む芳醇なサウンド

P42

最新こそ最良を証明するDYNAUDIO
ワイヤレススピーカーの
常識がいま反転する

P45

AUDIO LIFE goods

P48

モノ・マガジンが注目する欧州の美音最新スピーカー
欧州からの美音の風

P50

日常生活にさりげなく流れる音の気配
快適ラジオスタイル@デイリーライフ

P54

~カーオーディオ新美音~
EVの静寂

P56

古来から響き伝わる
民族楽器の深淵なるサウンド

P59

モノ的追悼 JEFF BECK

P61

AUDIO NEWS

P62

ステレオサウンドの試聴室

写真/鶴田智昭(WPP)

【特集】紫煙をくゆらせる大人の嗜み たばこと喫煙具

067

たばこを取り巻く環境は厳しさを増す一方だが、喫煙者にとって貴重なリラクスタイムでもある。最高に満喫するため、紙巻きから手巻き、加熱式、電子式、パイプ、シーシャに至る多種多様なたばこ楽しみ方を提案。

mono編集部モノ差し	006
う〜ん、うなるもの	010
ジン・デボ	012
みんなの時計	064
柳町正蔵のミステリーキャスケット	066
宮内裕賀の「日本イカ化計画」	087
クロラボ	088
モノ・ショップ新聞	090
モノ進化論	092
レイジング大谷のアイビーの名のもとに	100
monoの大捜査線	102
新製品情報	108
スタイリングモノ	127
金属恵比寿 高木大地の狂気の楽器塾	134
みうらじゅんの今月のグッとくる宝物ベスト2	135
インフォメーション	138
バックナンバーリスト	139
次号予告	140
モノ・ショップジャーナル	141

【連載企画】兵士が行くところならPXも行く ポストエクスチェンジ物語 第21回

094

文と構成/河村喜代子 写真/AAFES、米議会図書館、米陸軍、WPPコレクション
Text & Edit/Kiyoko Kawamura Photo/US Army & Air Force Exchange Stores, Library of Congress, US Army, WPP Collection

モノクロの時代が続いたところで、今回のポストエクスチェンジ物語は、ひととき、現代へと回帰。今や店舗デザインは、スマートに統一されて、レッドとブルーの鮮やかなPXのロゴを正面にのせている。色彩あふれる店内で、ミルスペック縫製の迷彩軍服が逆に異彩を放つ。

【特集】珈琲道楽を極めたい ドリップコーヒーの王道

111

自分好みの味が淹れられるのがドリップコーヒーの魅力。気分転換になるし、適度な水分補給は身体にもイイらしい。そんな珈琲にまつわるエピソードからドリップで淹れたような味が堪能できるマシンなど最新ギアも網羅！

進化していく楽器、シンセサイザーに魅せられ

「どうしても、ひとつひとつのモノにこだわる性分ですね。クルマも時計も最初はふつうに買っただけで、でも没頭していくとあちこちに沼があつて、それが楽しいことを知るわけです。一度、そのクセがついたら、何をやるにもそういうスタンスになってしまいますよね」

生粋のモノマガンである伝説的ロックバンド・レベッカのリーダー、土橋安騎夫さん。その音楽コックピットを訪れると往年のアナログシンセサイザーの名機・ジュピター8をはじめ、モノ感高い魅惑の楽器にあふれていた。無論、現在ではそれらの多くは趣味の性質も強く、楽曲制作はPCを中心としたDTMで行っている。

「僕は結構、曲をつくるうと思ってるタイプですね。散歩しながらいいメロディが浮かぶこともあり、ボイスメモに録音して後から聴いてみたら、どこが頭が分からなくて使えなかったとか。ああ、ワン、トゥー、スリー、フォーって入れなきゃダメなんだとかね。時間をかけたからいい曲ができるなんてことはないんですよ。タイミングとか時代背景とかバンドの勢いとか、たくさんのミラクルが重なりあつてできたりすることもあるだろうし」

代表曲の「フレンズ」もそうしたなかで生まれた。メジャーデビュー翌年の1985年、シンセサイザーを中心とした楽曲、サウンドは'80年代に生まれた日本のエレクトリックポップを牽引した。その後、'90年代に始まったハードディスクレコーディング、さらに現在のDTM化へと至る間に楽曲制作環境も激変。鍵盤こそ使用するものの、音作りを行っていたシンセサイザーの本体機能もPCソフトに組み込まれていった。

「シンセサイザーって進化していく楽器なんですよね。それがほかの楽器との大きな違い。'70年代にアナログシンセサイザーが出始めたころはサイン波とか矩形波とか基本波形を加工して電子音を鳴らす楽器でした。やがて、金属をカインと割った音とか人の声とか、自然界ではない音も加工してPCM音源にできるようにすると、音の種類がもの凄く増え、いまではそれが全部プログラムでできるようになったわけです。ただ音楽の歴史と似ているけど、煌びやかなデジタルが当然になると、今度はやっぱりアナログがいいよねってなるの。DTMのソフトシンセでも充分にアナログっぽい音も出せるのだけど、そうなるとかえって、本物には敵わないよなってる」

最近、趣味界隈ではアナログシンセサイザー人気が再燃中だ。「アナログを知っているのと知らないのでは音の作り方が全然違うんです。たとえば、ピーとかガーとかヒューとか音でもいろいろあるけど、波形や音色、音階、音量、それにフィルターをかけ、それらを組み合わせると一つの音になるわけ。いまのシンセサイザーはすでに出来上がっている音のクオリティが高いから、本

音楽クック ポップ

音 楽 は い つ も そ ば に い た !

ロックバンド「レベッカ」のリーダー&キーボード、コンポーザー

土橋 安騎夫さん

ス ペ シ ャ ル イ ン タ ビ ュー

スマートフォンのワンクリックで手軽に聴ける身近な音楽の一方で、あえて面倒を愉しむアナログシンセサイザーやレコードが人気再燃中だ。その魅力はどこにあるのか？ かつて「ピュピュピュ」なセンセーショナルサウンドが衝撃的すぎた、日本のエレクトリックポップ先駆者のひとりである、ロックバンド・レベッカのリーダー、土橋安騎夫さんに聞く、デジタルとアナログのはざまをトコトン愉しむ大人の音楽の在り方とは？

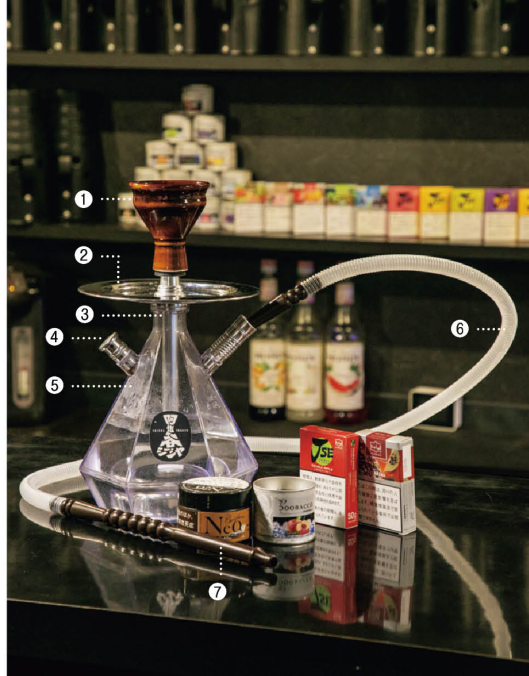
写真：魚住誠一 文：下川冬樹



profile

土橋安騎夫 Akio Dobashi

2015年再結成で話題になった伝説的ロックバンド「レベッカ」のリーダー&キーボード、コンポーザー。「フレンズ」含むそれ以降ほぼ全作品の作曲を手掛ける。解散後はソロ活動、プロデュース、楽曲提供、DJ、劇伴制作など幅広いジャンルで音楽活動を展開。2019年よりソロアルバム「SENRIITSU」シリーズを毎年リリース。現在その三部作が発売中！ あえて今聴くべきレベッカの名盤推しは7thアルバム「BLOND SAURUS」とか。「NYに憧れているような、'90年代幕開けの頃の音が心地いいですよ。あと当時僕が懇願してアナログ盤も少数生産したので、ブロード・サウルスのレコードは激レアです！」。カスタマイズされたシンセサイザーが並ぶソロ・ライブ「土橋安騎夫「SENRIITSU」ソロ・ライブ」が青山ZEROにて3月16日(木)に開催予定。詳しくはwebを。http://www.starfish-r.com



そもそもシーシャって何ですか？

シーシャは主に中近東諸国で広まった文化で、ひと言で言うなら“専用ボトルに入れた水で濾過された煙を吸うたばこ”。ニコチン量は0.02～0.05%（フレーバーで異なる）だが、水にくぐらせることでニコチンが削ぎ落とされるため、滑らかで軽い味わいが楽しめる。

フレーバーは爽やかな柑橘系・果物系、甘味強めのスイーツ系、ドライな味わいのスパイス系まで多種多彩。ちなみに、阿佐ヶ谷シーシャではフレーバーMIXを含めると何百通りもの味わいが楽しめる100種類以上のフレーバーを常備。



細かく刻んだたばこ葉に香料・糖蜜・グリセリンなどを加えたフレーバーを使用。阿佐ヶ谷シーシャでは日本人の味覚に合うヨルダン産アルワハ、マレーシア産クレッセンス ネオ、インドネシア産ドゥーバコ プレミアムなどを用意。

男心くすぐるギア感が満点なシーシャ。その本体は、①フレーバーを盛りつける“ボウル”、②ボウルにのせた炭の灰が下に落ちないようにする“トレイ”、③ボウルとボトルをつなぐ“ステム”、④ボトル内に溜まった煙を排出する“逆止弁”、⑤ボウルからステムを通して生成された煙を濾過するための水を入れる“ボトル”、⑥煙を吸い口まで導く“ホース”、⑦ボトルに溜まった煙を吸い出す“吸い口”などから構成。

料理をしているかのような準備工程を眺めているだけでも楽しい！

何はともあれ、お店に入ったらお好みのフレーバーを注文しよう。とはいえ、初めてお店に行った際は「何を注文すればいいのかわからない……」と悩んでしま

うが、スタッフに相談すれば好みに合ったフレーバーをお勧めしてくれるので心配は無用。注文から10分前後でシーシャが提供されるので、いざ実飲せよ！



シーシャが提供されるまでの流れはコチラ。①ボウルにフレーバーを盛り付ける。②ボウルにアルミホイルを被せる。③アルミホイルに穴を開け、着火した炭をのせる。④ウインドカバーを使ってボウルを温める。⑤フレーバーが温まってきたらスタッフが試喫。煙がしっかり出るようになった時点で準備は完了。



カトウ部員が訪れたのはJR阿佐ヶ谷駅から徒歩30秒の『阿佐ヶ谷シーシャ』

駅近で利便性が高いうえに第二のリビングを思わせるアットホームな雰囲気、居心地が良く、初めてのシーシャに最適な阿佐ヶ谷シーシャ。同店のツイッターでは“オススメMIX”が毎日更新されている。シーシャ+ドリンクの組み合わせで2100円（時間割適用時）から利用可能だ。

Shop Information

【住所】東京都杉並区阿佐ヶ谷北2-1-2 石井ビル3階
【営業時間】火・水・木・日：19時～26時（ラストオーダー25時）／金・土：19時～29時（ラストオーダー28時）
【定休日】月曜日 ☎090-5337-5284
【SNS】<https://twitter.com/asagayashisha>



シーシャは一般的な紙巻きたばことは異なり、煙を吸い込んだら息を止めずにすぐ吐き出すのが基本。煙を吐き出す際も、寒い日に手を温めるときに行う“ハア〜”というイメージでゆっくり吐き出すと、うま味がより感じられる。

わいたい、普通のだばこに飽き足りない、怖いもの見たさで興味があるという人は、ぜひお試しあれ。



「ださい」との助言をいただき、その後、約1時間ほど楽しみました。その他詳細は写真とともに説明していますので、そちらを参照いただきたいのですが、新しい発見が多くて満足度も高かったシーシャの時間。非日常を味わいたい、普通のだばこに飽き足りない、怖いもの見たさで興味があるという人は、ぜひお試しあれ。



使用するフレーバーやその量によっても異なるが、1時間半から2時間にわたって喫煙が楽しめるシーシャ。ゆったりと落ち着ける雰囲気の中で無心に煙を吹かすのもよし、仲間と語らいながら過ごすのもよし。シーシャならではの味わいや煙感を楽しんでみては？

会社帰りにちょっと寄り道しませんか？

シーシャの時間

モノ・マガジン編集部で唯一の喫煙者である私（カトウです）が、その存在は知っていたものの未知なるだばこだったシーシャを初めて体験。使う道具はギア感に溢れているし、吸い方も独特だし、味や香りも深いい、シーシャってイイね！

写真／熊谷義久 文／モノ・マガジン編集部

私（カトウです）が今回のたばこ特集を担当するにあたり、誌面で取り上げたいと真っ先に思ったのがシーシャ。シーシャってアングラなイメージがありますよね？怖いもの見たさという意味で興味を惹かれるのはモノ・マガジ読者も同じでしょうし、今や少数派となった喫煙者のひとりとして、シーシャは一度試してみたいたばこだとは常々思っていたからです。

とはいえ、シーシャを取り巻く環境はひと昔前とは大きく様変わり。20代から30代の若い世代（しかも、その一部は非喫煙者なのだそう）の間で流行ってきているのが実情です。東京都内をはじめ、各地でシーシャを提供する店舗が増えたこともあり、シーシャは完全に市民権を得たといっても過言ではありません。また、シーシャが楽しめる店舗もさまざま、見た目に映えるインテリア小物などで装飾したお洒落なカフェも多いのですが、アラフィフ男子の私がひとりで行くには少々ハードルが高い……そこでリサーチを進めたところ、我がモノ・マガジン編集部のお膝元（＝最寄駅）であるJR阿佐ヶ谷駅の近くにお店を発見。これぞ、灯台下暗し!? しかも写真を見ることが、お店の中はシックな雰囲気、秘密基地っぽいのもグッド！善は急げ。さっそく、そのお店を訪れることにしました。

店舗入口の扉を開けて店内に入ると、あま〜い香りが漂っていて何とも不思議なカンジ。カウンターに座った私は、日頃からお世話

になっているエナジードリンクの文字に誘われるように、そのものずばりのエナジードリンクフレーバーを注文しました。その味わいは、まさに某エナジードリンクで日頃から慣れ親しんだものでした。でも、吸い方がいまひとつでシーシャ独特の煙感もなく……。シーシャは煙を吹かして吸い、煙をゆっくり吐いて顔の周りに煙を漂わせることで香りも楽しむもの。ゆっくり時間をかけてやってみてく

完成!



雑味がなくなめらかな口当たりのコーヒーが抽出できているはず!

所要時間は約3分!



熱いうちにカップに注いでいただきまーす!



250cc程度を目安に抽出できたら、ドリッパーを外す。



豆がひたひたになるくらいを目安に少しずつお湯を注いでいく。



コーヒーの抽出の状態を1分半以降は点滴から線に変えていく。



ドリッパーの中心にお湯を注ぎ、サーバーに点滴のようにポタポタと落としていく。



湯を注ぐと豆が膨らみ、30秒くらい蒸らす。



豆全体にお湯が被るように回し入れる。



熱湯をドリップケトルに移して少し冷ます。88℃くらいが適温。



豆を入れる。好みもあるが深煎りは20gくらい中浅なら15g程度。



底がひとつ穴のオリジナルドリッパーにペーパーをセットする。

美味しい
ハンドドリップ
の淹れ方

猿田彦珈琲 オススメアイテム!



Drippen専用
ペーパーフィルター
(50枚入り)
価格500円

オリジナルドリッパー
(Drippen) (ドリッペン)
価格1100円



neo猿田彦フレンチ (100g)
価格1030円

お気に入りの豆でハンドドリップしてもカフェで飲んだ味とは違うし、そもそもこれで合ってる!?そこで、全国に19店舗展開する人気カフェ「猿田彦珈琲」のバリスタ・安部潤さんに、美味しいコーヒーを淹れるコツを聞いた。

「どんな味を目指すかで抽出方法が変わってくるのですが、共通して大切なのは豆の量、お湯の温度、抽出時間です。僕たちは1杯のコーヒーを淹れるのに深煎りは約20g、中浅は約15gの豆を使い約88℃のお湯で深煎りだと3分くらい、中浅煎りだと2分くらいかけて抽出します。これは、猿田彦珈琲が目指す『雑味がなく口当たりのいい滑らかなさがあり、かつ後口が甘い』そんな味を表現する抽出法です。抽出するときにいくつかポイントがあつて、豆を蒸らすときは全体にお湯をかけますが、あとは中心にだけやさしくお湯を当てていきます。オリジナルドリッパーは、円錐型のひとつ穴なので少ない湯量でも底ではお湯が広がってコーヒーを落とすしてくるんです。最初は1分くらいかけてポタポタと点滴のようにお湯を当て美味しくて濃いコーヒーを落とし、そのあとで少しお湯の量を増やして抽出していく。要は最初に抽出した濃厚なコーヒーを効率よく希釈するイメージです。よくある、円を描くように全体にお湯を注ぐ手法も良いのですが、僕たちはこの方法でコーヒーをお淹れしています」。安部さんの淹れたコーヒーは、スツと口に馴染むマイルドさがあつて芳醇な余韻が消えなかつた。さっそく今からこの手法を取り入れたくなった。

いつでも美味しいコーヒーが淹れられる バリスタのテクをマスターせよ

特集 ドリップコーヒーの王道



毎日、我流でコーヒーを淹れているけどカフェで飲んだら、アレ……全然違う! ってコトありませんか?『猿田彦珈琲』の現役バリスタにテクニックを教えてもらった。

写真/熊谷義久 文/パンチ広沢



猿田彦珈琲
バリスタ 安部 潤さん

1992年生まれ。学生時代にコーヒーの魅力に取り憑かれ、2016年に猿田彦珈琲へ入社。同社のバリスタとなる。現在はトレーニング部門の責任者として勤務。

淹れていたいたのは芳醇な香りと心地よい甘さ、滑らかな口当たりの深煎り豆「neo猿田彦フレンチ」だ。

猿田彦珈琲 調布焙煎ホール

「たった1杯で、幸せになるコーヒー屋」というコンセプトを掲げるスペシャルティコーヒーの専門店。調布焙煎ホールは大きな焙煎機を併設した大型カフェで、焙煎士が常駐し全店の豆を焙煎している。広く落ち着いた店内で寛ぎながらコーヒーや軽食が楽しめる。



④東京都調布市小島町2-61-1
トリエ京王調布 C館 1F
☎042-444-2632
アクセス/調布駅から297m
営業時間/21:00 LO.20:30
日曜営業/定休日無し
※営業時間・定休日は変更となる場合があるので、来店前に店舗に確認ください。

Publisher
今井今朝春
Kasaharu Imai

Editor-in-Chief
前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor
関谷和久
Kazuhisa Sekiya

松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki

Editor
小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁
Satoru Otani

片岡静香
Shizuka Kataoka

加藤文晶
Fumiki Kato

友井健人
Taketo Tomoi

竹本 泉
Izumi Takemoto

荻崎 大
Dai Yabuzaki

Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

伊藤たまお
Tamao Itou

Staff Photographer
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥
Toshiya Suzuki

上田秀一
Shuichi Kanda

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノ・マガジンweb

https://www.monomagazine.com/

に遊びにきてね!



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!

f https://www.facebook.com/monomagazine1982/

t https://twitter.com/monomagazineweb/

スマホでもモノ・マガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

うーん、うなるモノ

モノ進化論

mono編集部モノ差し

monoの大捜査線

特別企画

春の特選カバン

外出も増えるこの季節。相棒カバンの準備は万端だろうか。手持ち派も背負い派も、スリッパもカバン派もきつと満足いくカバンが見つかる恒例コラボ企画。さて君はどんなカバンを選ぶか?

「モノ・マガジンXハンス」コラボ企画

特集

実践アーススマート!

地球の環境負荷削減に向けた持続可能な取り組みが急速に進む。サステナブルな注目商品が続々と登場。リサイクル素材や植物由来素材を活用したファッションや日用品、太陽光発電の自家消費システム、環境に優しいEVやEバイクなど、24時間365日サステナブルに暮らせるのが現実。地球に優しい生き方を今すぐ実践しよう!

緊急企画! 365days 地球を守れ!

特集

電動ビークル大集合

この7月の法改正によってますます需要の伸びが期待される電動キックボード。一家に一台も当たり前となった電動アシスト自転車。快適性は内燃機関を凌駕する電動バイク。そして、新たなシティコミューターとして注目のトライクなど、日常の手軽な移動手段として発展・進化を遂げる「最新電動2輪・3輪車」をここにラインナップ。

総力特集

超怪獣の世界

ゴジラ! ガメラ! ウルトラ! 日本の特撮怪獣アイテムとレアな情報が大集合!
2023年は日本のゴジラ復活、ネットフリックスでガメラ新作アニメ決定、ウルトラ怪獣も大暴れ。そんな怪獣大国日本で雄叫びを上げるフィギュアやグッズ! 「ゴジラ2016、メカゴジラ3式機龍、イリス、ゴメス」そして「ゴジラくん! 怪獣ファン興奮のレア情報も満載! 日本発の世界的エンタテインメントKAIJUが、ページ狭しと暴れ回る! キックボードからトライクまで!

モノ・マガジン3-16情報号 NO.911

3月2日(木)発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人●今井今朝春

編集人●前田賢紀

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アズ阿佐ヶ谷

TEL:03(6383)2331 [編集部]

03(5929)7682 [メディアビジネス部]

03(6383)2390 [販売部]

FAX:03(6383)2583 [編集部]

03(6304)9443 [メディアビジネス部]

03(6383)2574 [販売部]

印刷所●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

実勢価格は編集部調べの価格です。